

Iwatani

2026年3月期第2四半期 決算説明資料

（見通しに関する注意事項）

将来にわたる部分につきましては、予想に基づくものであり、確約や保証を与えるものではありません。
当然のことながら、予想と違う結果と成ることがあることを十分にご認識の上ご活用ください。

2025年11月20日
岩谷産業株式会社

〔証券コード 8088〕

1. 2026年3月期第2四半期 決算概況

- － 決算ハイライト
- － 連結経営成績
- － 連結経営成績（セグメント別）
- － セグメント別営業利益分析
- － 連結貸借対照表
- － 連結キャッシュ・フロー計算書

2. 2026年3月期 通期業績予想

- － 通期業績予想
- － セグメント別見通し
- － 株主還元方針

3. 中期経営計画「PLAN27」の進捗

- － 中期経営計画「PLAN27」重点施策の進捗

2026年3月期第2四半期 決算概況

2026年3月期 第2四半期 決算ハイライト

▶ 売上高は増収。営業利益、経常利益は減益となったものの、中間純利益は増益。

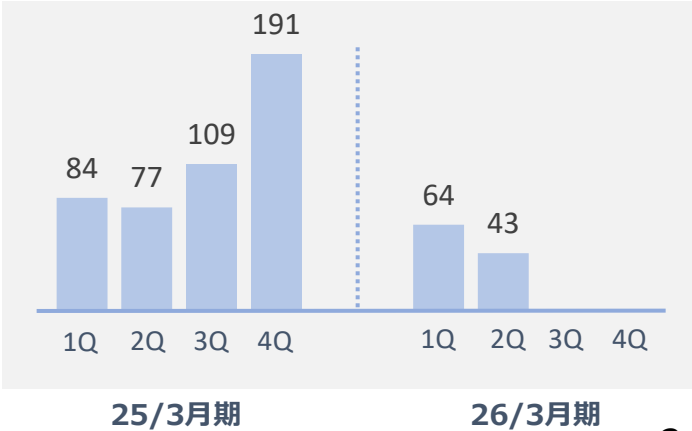
2026年3月期 第2四半期 決算概要

- 増収要因：L P ガス輸入価格の低下に伴い、販売単価が下落したものの、マテリアル事業を中心に工業分野向け商品の出荷が堅調に推移し、増収。
- 減益要因：L P ガスの市況要因やヘリウム収益の低下により減益。
- 通期業績予想：変更なし

※コスモエネルギーホールディングスの株式追加取得にかかる、「負ののれん」の金額が確定したため、2025年3月期第2四半期の経常利益、中間純利益が、昨年発表した金額から、それぞれ16億45百万円減少しています。
本資料に記載されているデータは全て、上記内容を反映しています。

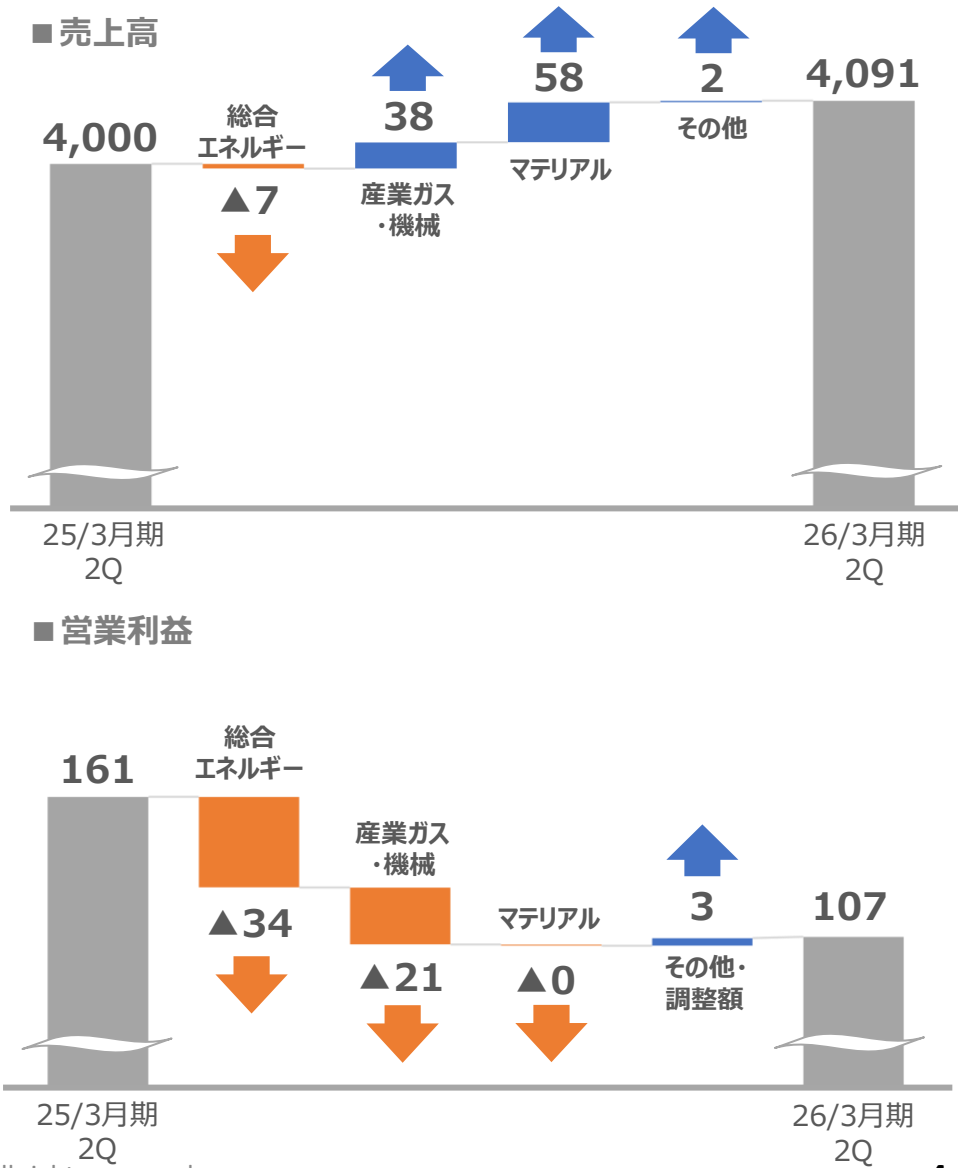
売上高	4,091億円	前年同期比	+91億円 (+2.3%)
営業利益	107億円	前年同期比	▲53億円 (▲33.3%)
経常利益	180億円	前年同期比	▲26億円 (▲12.8%)
中間純利益	203億円	前年同期比	+68億円 (+51.1%)

■ 営業利益 四半期推移 (億円)



連結経営成績

	2026/3月期 2Q 実績	2025/3月期 2Q 実績	増減額 (増減率)	2026/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	4,091	4,000	+91 (+2.3%)	9,364	43.7%
売上総利益	1,065	1,066	▲0 (▲0.1%)	-	-
営業利益	107	161	▲53 (▲33.3%)	491	21.9%
市況要因除く 営業利益	138	171	▲33 (▲19.3%)	491	28.3%
営業外損益	72	44	+27 (+61.0%)	-	-
コスモエネルギー HDに関連する 持分法投資損益	47	19	+28 (+146.3%)	106	-
経常利益	180	206	▲26 (▲12.8%)	631	28.5%
親会社株主に帰属 する中間純利益	203	134	+68 (+51.1%)	488	41.6%



連結経営成績（セグメント別）

	2026/3月期 2Q 実績	2025/3月期 2Q 実績	増減額	増減率	2026/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	4,091	4,000	+91	+2.3%	9,364	43.7%
■ 総合エネルギー事業	1,564	1,572	▲7	▲0.5%	4,060	38.5%
■ 産業ガス・機械事業	1,324	1,285	+38	+3.0%	2,759	48.0%
■ マテリアル事業	1,049	991	+58	+5.8%	2,235	47.0%
■ その他	152	150	+2	+1.5%	310	49.1%
営業利益	107	161	▲53	▲33.3%	491	21.9%
■ 総合エネルギー事業	▲2	32	▲34	-	219	-
■ 産業ガス・機械事業	58	79	▲21	▲27.1%	188	31.0%
■ マテリアル事業	60	61	▲0	▲1.0%	129	47.1%
■ その他・調整額	▲9	▲12	+3	-	▲45	-
市況要因を除く営業利益	138	171	▲33	▲19.3%	491	28.3%
（コスモエネルギーHDに関連する 持分法投資損益）	47	19	+28	+146.3%	106	-
経常利益	180	206	▲26	▲12.8%	631	28.5%
親会社株主に帰属する 中間純利益	203	134	+68	+51.1%	488	41.6%

LPガス輸入価格の変動による増減益効果（イメージ）

前提 ①卸売価格はLPガス輸入価格に連動

LPガス輸入価格
(中東玉と米国玉で構成)

リンク

卸売価格

②輸入～販売の期間は約3カ月



LPガス輸入
価格が変動

短期的に業績に影響が生じる（市況要因の発生）

（LPガス輸入価格が元の水準に戻れば影響はゼロ）※

上昇局面

安い在庫を高値で販売

売値の基準

増益効果

原価の基準

LPガス輸入価格
(約3カ月)

下落局面

高い在庫を安値で販売

減益効果

原価の基準

売値の基準

LPガス輸入価格

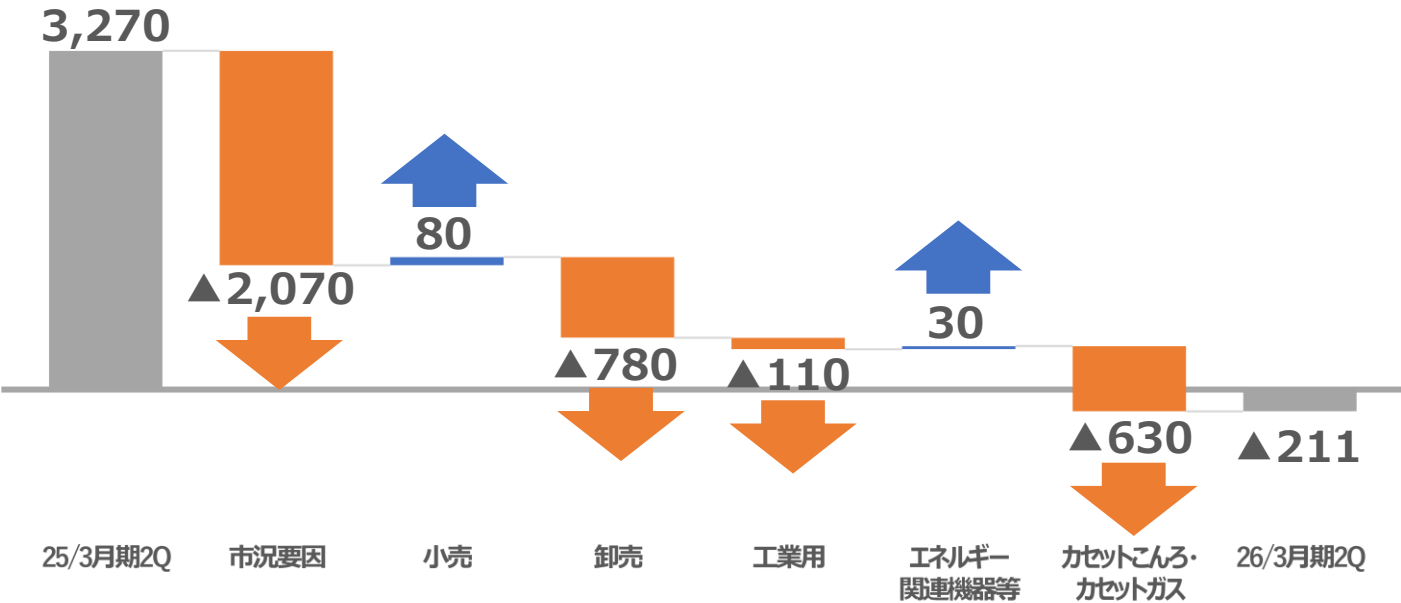
※ 在庫量・販売時期・販売数量によって実際の業績への影響は変動します

セグメント別営業利益分析（総合エネルギー事業）

決算実績

	2026/3月期 2Q 実績	2025/3月期 2Q 実績	増減額	増減率	2026/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	156,492	157,263	▲770	▲0.5%	406,000	38.5%
営業利益	▲211	3,270	▲3,482	-	21,900	-
市況要因除く 営業利益	2,911	4,327	▲1,416	▲32.7%	21,900	13.3%

営業利益増減分析



主な営業利益増減要因

■市況要因 ▲2,070

(億円)	1Q	2Q	上期 累計	3Q	4Q	通期 累計
当期	▲11.8	▲19.4	▲31.2	-	-	-
前期	▲0.7	▲9.8	▲10.5	+3.6	+9.1	+2.1
差異	▲11.1	▲9.6	▲20.7	-	-	-

■小売 +80

・新規連結の影響もあり販売数量が増加

■卸売 ▲780

・LPガス販売数量の減少

■工業用 ▲110

・取引先の拡大により販売数量が伸長も、コストが上昇

■エネルギー関連機器等 +30

・給湯器や工事等の売上が堅調

■カセットこんろ・カセットガス ▲630

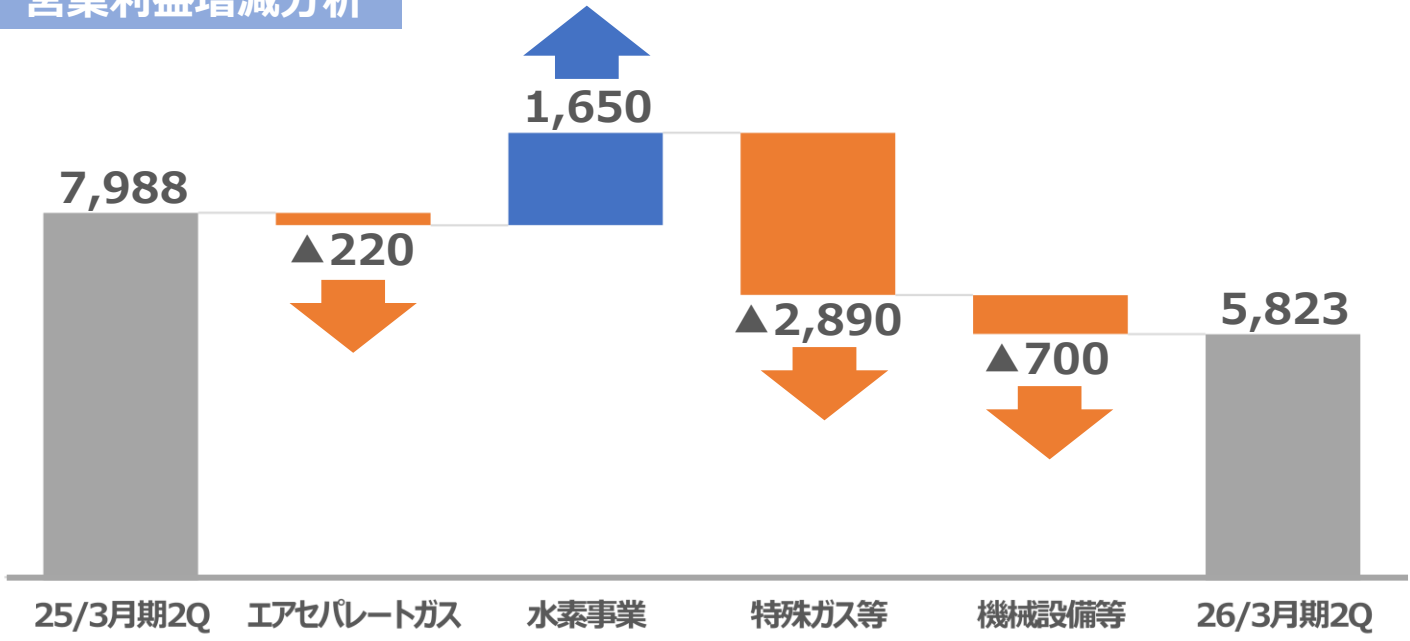
・国内および、中国での販売が低調

セグメント別営業利益分析（産業ガス・機械事業）

（単位：百万円）

決算実績						
	2026/3月期 2Q 実績	2025/3月期 2Q 実績	増減額	増減率	2026/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	132,447	128,583	+3,864	+3.0%	275,900	48.0%
営業利益	5,823	7,988	▲2,165	▲27.1%	18,800	31.0%

営業利益増減分析

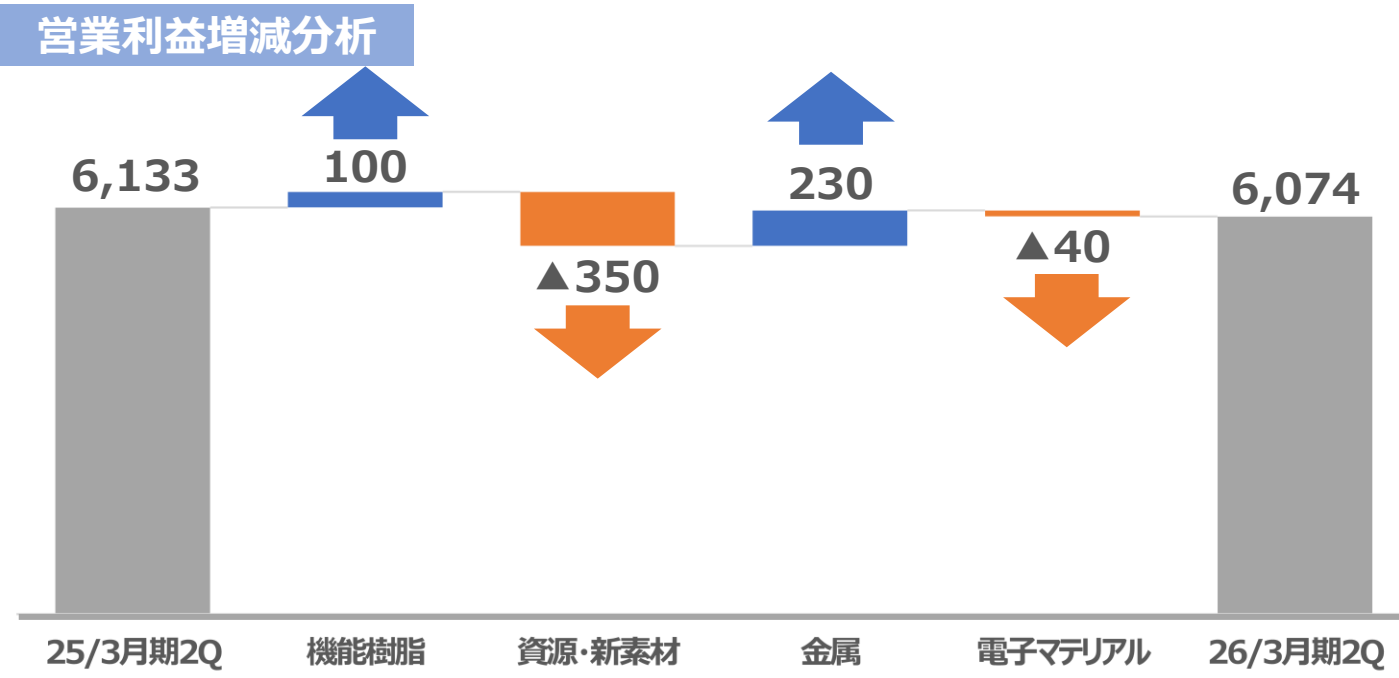


主な営業利益増減要因

- **エアセパレートガス ▲220**
・中国で内需が低迷し、収益性が低下
- **水素事業 +1,650**
・水素ガスや水素関連設備の販売が増加
- **特殊ガス等 ▲2,890**
・ヘリウム市況が軟化し、収益性が低下
- **機械設備等 ▲700**
・自動車業界・半導体業界向け設備の販売が減少

セグメント別営業利益分析（マテリアル事業）

決算実績						
	2026/3月期 2Q 実績	2025/3月期 2Q 実績	増減額	増減率	2026/3月期 通期見通し	進捗率
売上高	104,955	99,155	+5,800	+5.8%	223,500	47.0%
営業利益	6,074	6,133	▲59	▲1.0%	12,900	47.1%



主な営業利益増減要因

- 機能樹脂 **+100**
 - ・低環境負荷PET樹脂の販売数量が増加
 - ・樹脂製品の売上が堅調
- 資源・新素材 **▲350**
 - ・安定供給に努め、レア・アース等の販売が伸長
 - ・ミネラルサンドは豪州の自社鉱区での収益性が悪化
- 金属 **+230**
 - ・ステンレスが新規連結の影響により販売増加
- 電子マテリアル **▲40**
 - ・機能性フィルムの売上が低調

連結貸借対照表

(単位：億円)

	2025年 9月末	2025年 3月末	増減額	主な増減理由・備考
流動資産	2,977	3,284	▲307	売上債権の減少
（有形固定資産）	2,388	2,402	▲13	
（無形固定資産）	498	486	+12	
（投資その他の資産）	2,640	2,557	+82	投資有価証券の増加
固定資産	5,526	5,445	+80	
総資産	8,504	8,730	▲226	
（流動負債）	2,269	2,549	▲280	支払手形及び買掛金の減少
（固定負債）	2,133	2,208	▲75	長期借入金の返済
負債	4,402	4,758	▲356	有利子負債 2,533億円（▲110億円） 有利子負債依存度 29.8%
（自己資本）	3,985	3,860	+125	自己資本比率 46.9%
（非支配株主持分）	115	111	+4	
純資産	4,101	3,972	+129	
負債・純資産	8,504	8,730	▲226	

※2026年3月期中間連結会計期間において、アイエスジーの全株式取得に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、
2025年3月期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映しています。

連結キャッシュ・フロー計算書

- 営業キャッシュ・フローは230億円の収入。投資キャッシュ・フローは、有形固定資産の売却等による収入があったものの、産業ガスプラントやLPガスセンターの能力増強により27億円の支出となった結果、フリー・キャッシュ・フローは203億円の収入。

(単位：億円)

	2026/3月期 2Q 実績	2025/3月期 2Q 実績	前年差 (増減額)
営業キャッシュ・フロー	230	132	+97
投資キャッシュ・フロー	▲27	▲308	+281
フリー・キャッシュ・フロー	203	▲176	+379
財務キャッシュ・フロー	▲219	101	▲321
換算差額等 ※1	▲1	20	▲22
現預金等の増減額 ※2	▲17	▲53	+36
現預金等の期首残高	275	336	▲60
現預金等の期末残高	258	282	▲23

※1 「換算差額」「連結の範囲の変更に伴う増減額」「非連結子会社との合併に伴う増加額」の合計を表示しております

※2 「現預金等の期首残高」と「現預金等の期末残高」の差額を表示しております

2026年3月期 通期業績予想

2026年3月期 通期業績予想

	(単位：億円)			
	2026/3月期 予想	2025/3月期 実績	増減額	増減率
売上高	9,364	8,830	+533	+6.0%
■ 総合エネルギー事業	4,060	3,787	+272	+7.2%
■ 産業ガス・機械事業	2,759	2,714	+44	+1.6%
■ マテリアル事業	2,235	2,016	+218	+10.8%
■ その他	310	310	▲0	▲0.3%
営業利益	491	462	+28	+6.2%
■ 総合エネルギー事業	219	195	+23	+12.2%
■ 産業ガス・機械事業	188	175	+12	+7.0%
■ マテリアル事業	129	117	+11	+9.8%
■ その他・調整額	▲45	▲26	▲18	—
市況要因を除く営業利益	491	460	+30	+6.7%
(コスモエネルギーHDに関連する 持分法投資損益)	106	91	+14	+16.4%
経常利益	631	614	+16	+2.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	488	404	+83	+20.6%

・期初予想からの変更：なし
(2025年5月14日)

想定レート

為替 145円/\$

LPGガス輸入価格 650\$/トン

(2024年度実績)

為替 153.36円/\$

LPGガス輸入価格 612\$/トン

1株当たり配当金

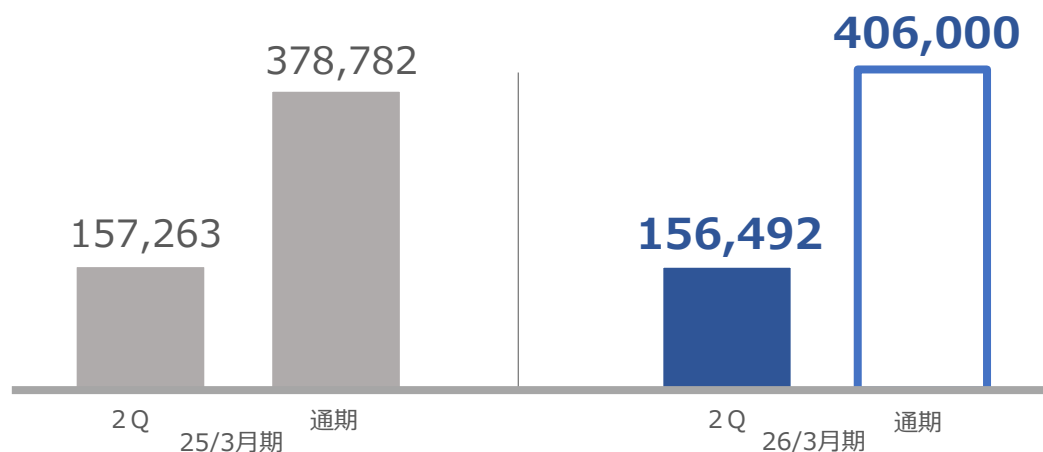
2026年3月期

- ・中間配当：23.5円 (実績)
- ・期末配当：23.5円 (予定)
- ・年間配当：47.0円 (予定)

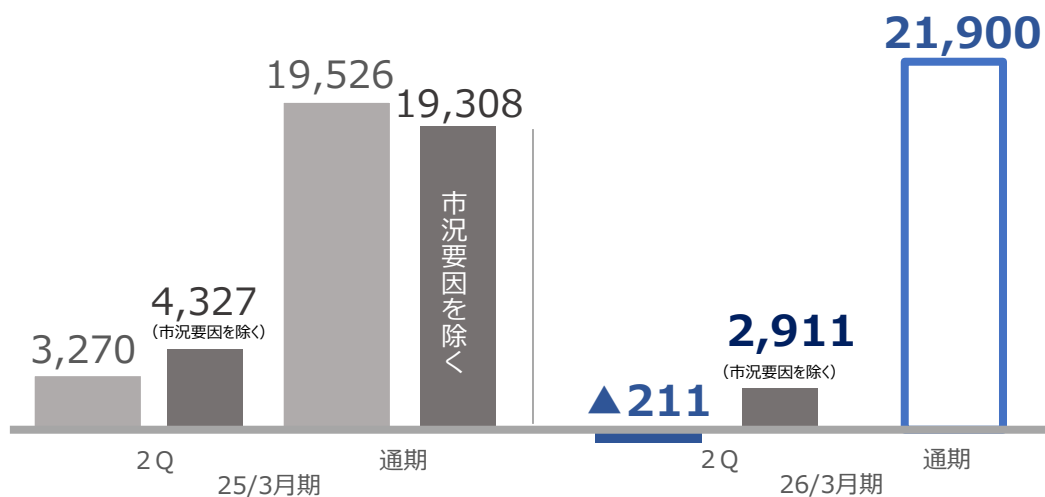
総合エネルギー事業の見通し

売上高

業績見通しの変更：なし



営業利益



通期業績予想の達成に向けて

・L P ガス事業の拡大

- ・ M&Aを中心とした L P ガス直売顧客数の拡大による販売数量の増加
- ・ 重油からの燃料転換の推進とカーボンオフセットガスの拡販を通じたエネルギーの低炭素化への取り組み強化
- ・ 物流合理化による収益性改善

・エネルギー関連機器等の拡販

- ・ カーボンニュートラル商材（高効率給湯器、太陽光、蓄電池等）の拡販
- ・ B C P 対策に向けた L P ガス非常用発電機や G H P の拡販

・カートリッジガス事業の拡大

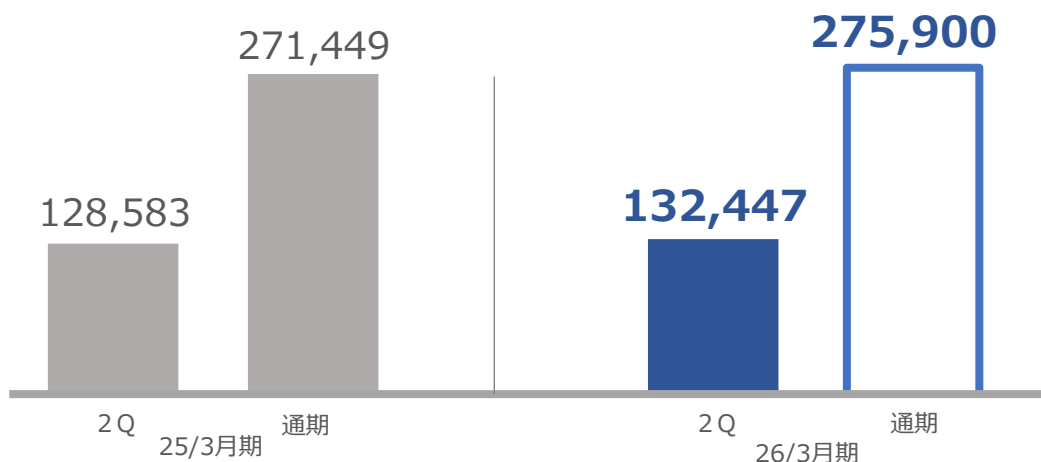
- ・ 新商品開発を通じた需要創出による国内市場での拡販
- ・ 地域のニーズに合わせた商品ラインアップを揃え、東南アジアを中心に海外事業を拡大

業績が変動する主な要因

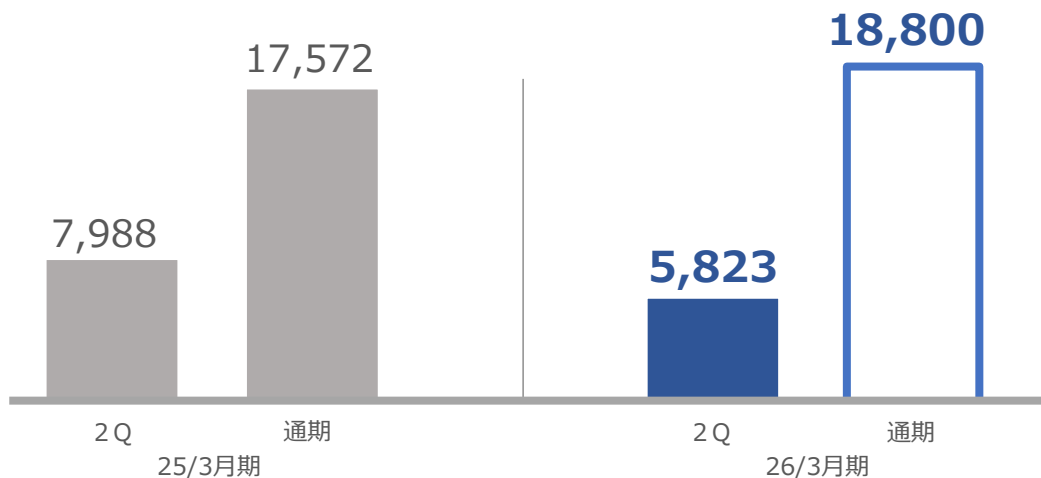
- ・ L P ガス輸入価格、為替の変動
- ・ 気温高等による L P ガス販売数量への影響

売上高

業績見通しの変更：なし



営業利益



通期業績予想の達成に向けて

・エアセパレートガスの適正な価格対応と拡販

- ・半導体（データセンターやAI市場向け）・電子部品業界等への拡販に注力
- ・調達コスト・物流コスト上昇への適正な価格対応

・液化水素の新規需要取り込み

- ・脱炭素需要に対し、液化水素や関連設備の拡販を強化

・特殊ガスの事業拡大

- ・調達コスト・物流コスト上昇への適正な価格対応
- ・炭酸ガス・半導体ガスの安定調達、安定供給

・機械設備の拡販

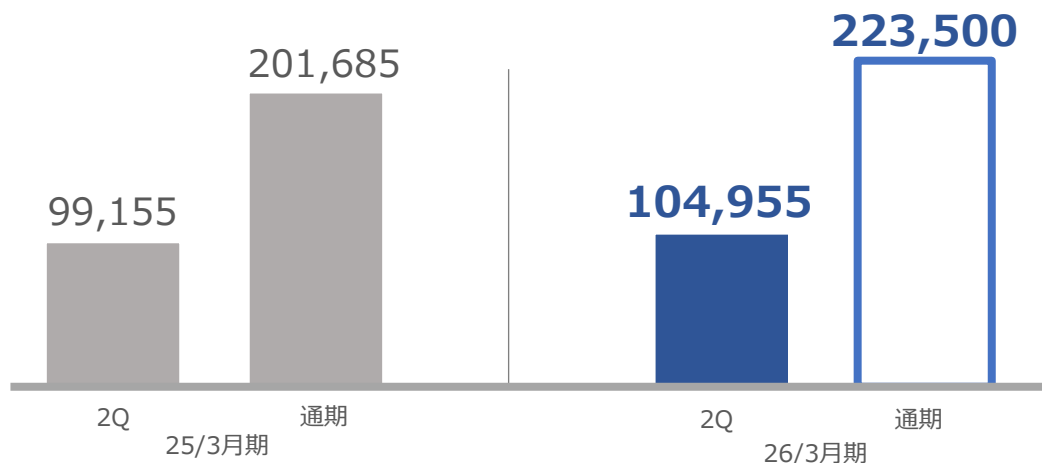
- ・脱炭素関連など成長分野向けに機械設備の拡販

業績が変動する主な要因

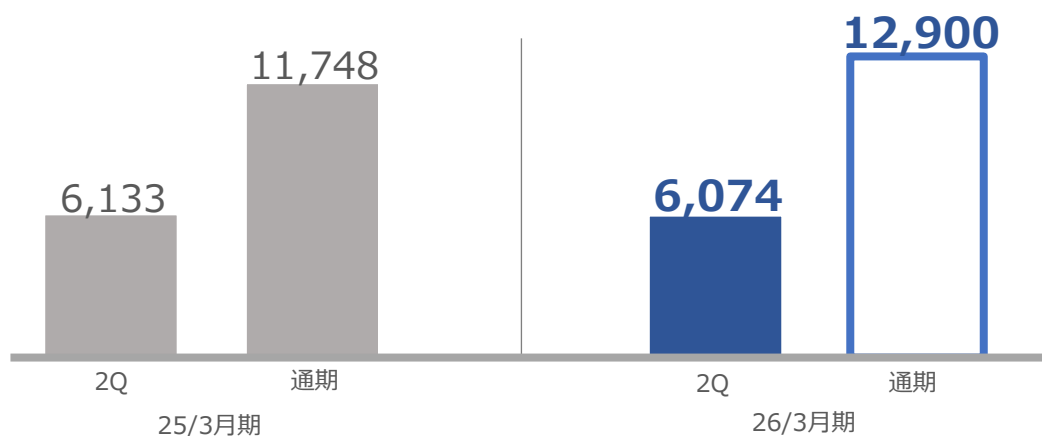
- ・製造コストや物流コスト上昇
- ・製造業の生産動向
- ・商品価格の変動

売上高

業績見通しの変更：なし



営業利益



通期業績予想の達成に向けて

・資源事業の強化

- ・ ミネラルサンド及びレア・アースの販売強化
- ・ 重要鉱物資源の確保に向けた取り組み強化

・金属事業の拡大

- ・ 国内加工拠点を活用したステンレスの拡販
- ・ 海外金属加工事業の拡大

・循環型ビジネスの推進

- ・ 資源リサイクル事業などの取り組み推進

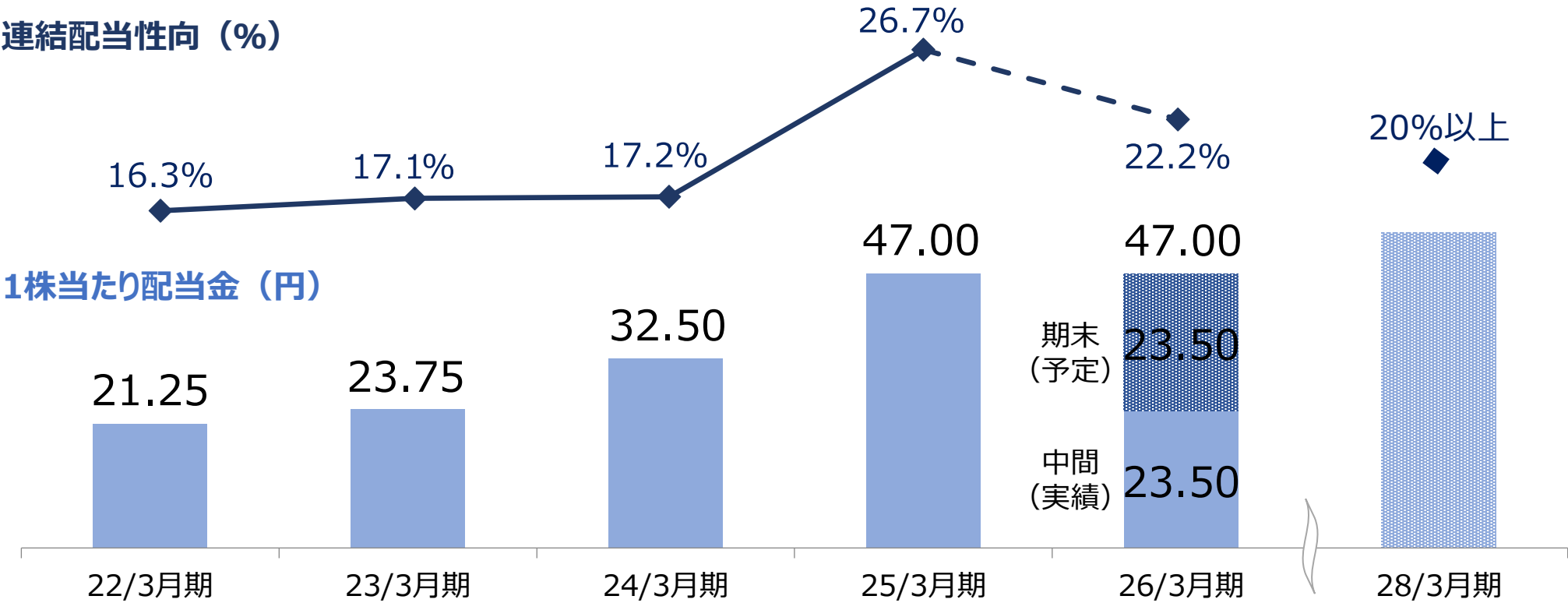
業績が変動する主な要因

・資源市況の変動

・為替変動

株主還元

【株主還元方針】
累進配当 + 2028年3月期に配当性向20%以上
⇒ 2026年3月期の配当は、中間配当として23.50円を実施、期末配当として23.50円を予定しており、年間配当予想は47.00円



※2024年9月30日を基準日、2024年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施しました。記載内容は、当該株式分割後の金額です。

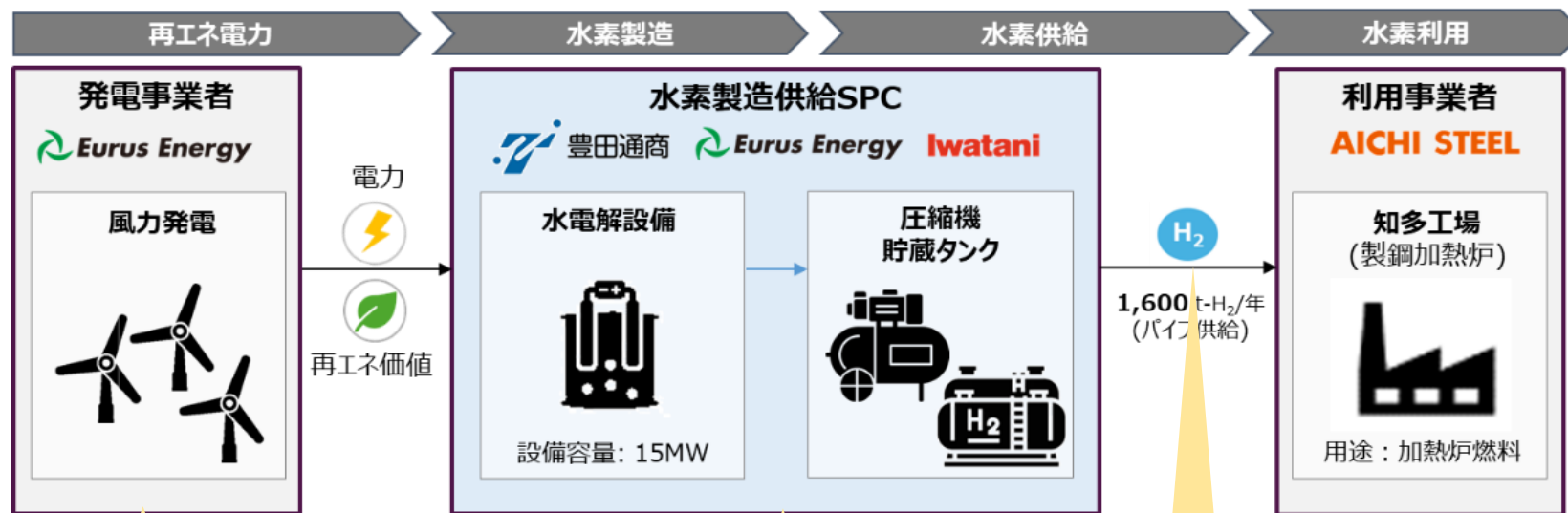
中期経営計画「PLAN27」の進捗

「PLAN27」重点施策の進捗

オンサイト型低炭素水素製造供給事業が 「水素社会推進法に基づく価格差に着目した支援」に認定

- ✓ 当社は、豊田通商、ユーラスエナジーの2社と
オンサイト型低炭素水素製造・供給事業の実現に向けた検討を開始
→2027年3月に3社で合同会社を設立し、2030年頃の事業開始を目指す

水素戦略



再生可能エネルギー由来の電力を活用し、愛知製鋼の構内に設置した、水電解装置により製造した水素を供給予定

年間約 1,600t の水素を製造・供給できる体制を目指す

「PLAN27」重点施策の進捗

水素戦略

水素燃料電池船「まほろば」に関する東京都との協定書締結

- ✓ 2025年大阪・関西万博にて旅客運航した（乗船者数：約15,000名）、
「まほろば」を活用した事業を、東京都と実施する協定を締結
- ✓ 2026年度内に東京港で運行予定
- ✓ 水素の有用性や水素エネルギーの
魅力等を広く発信



水素燃料電池船「まほろば」



東京都との締結式

【岩谷コスモ水素ステーション合同会社】 商用車向け水素ステーションの建設推進

- ✓ 東京都の平和島と有明自動車営業所に建設
した水素ステーションは順調に稼働中
- ✓ 東京都の新砂にて建設中の水素ステーションは、
2027年頃の開所予定

コスモ石油（株）千葉製油所を活用した、 液化水素製造プラントの建設

- ✓ 2025年度中に事業スキームと生産規模を
決定予定
- ✓ 2020年代後半に稼働開始予定
- ✓ 製造した水素は外部への販売とともに、
製油所内での活用を検討

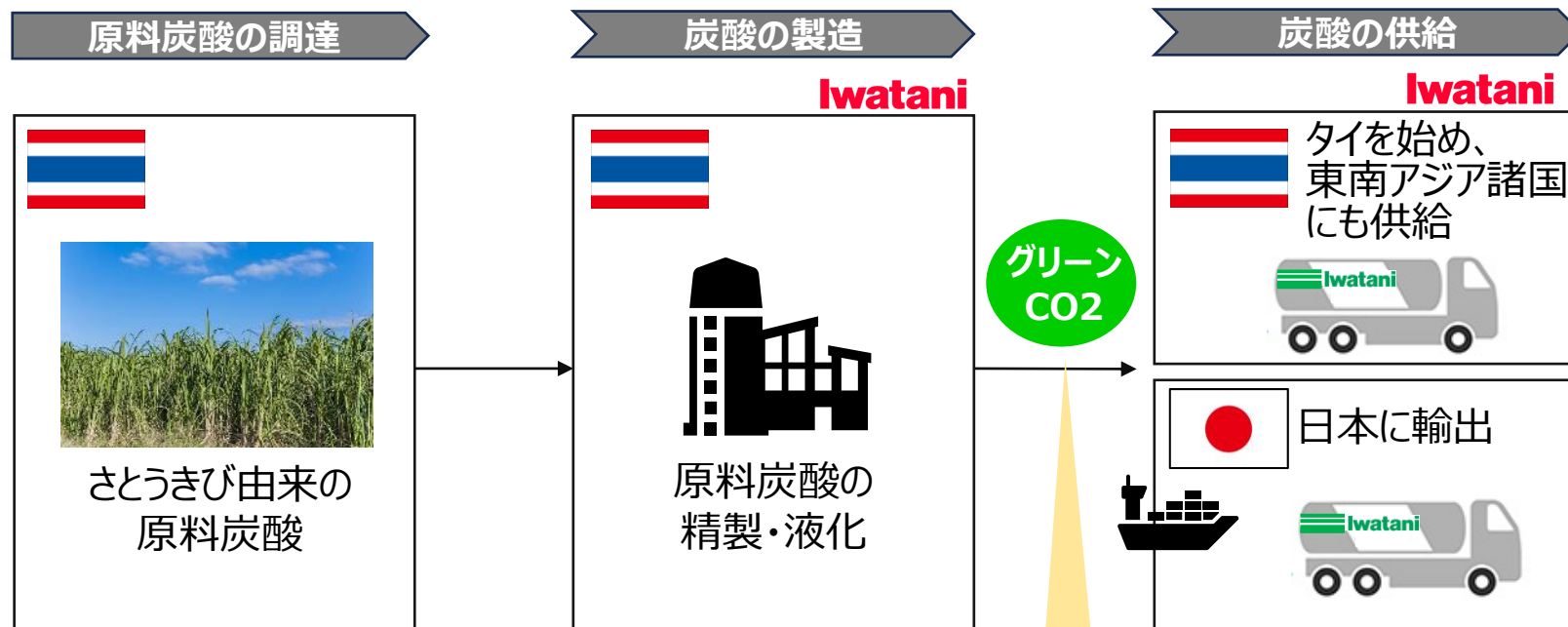
「PLAN27」重点施策の進捗

脱炭素戦略

バイオエタノール由来の液化炭酸ガスプラントの新設（タイ）

✓ 2027年4月 バイオエタノール由来の液化炭酸ガスプラントを稼働予定

✓ 「グローバルサウス未来志向型共創等事業」に採択



環境負荷を低減し、また、慢性的な炭酸ガス不足の解消に貢献

「PLAN27」重点施策の進捗

海外戦略

東南アジアでの冷媒事業の拡大

- ✓ 東南アジアでは、エアコンや自動車向けの冷媒需要が拡大
- ✓ マレーシアでは冷媒事業会社を買収し、タイ・インドネシアでは冷媒充填工場を増設
- ✓ 使用済みフロン回収・再生事業も開始
- ✓ 日系空調メーカーを中心に販売が伸長



マレーシアのフロン工場

バンコクサンヨースプリング社の株式取得（タイ）

- ✓ バンコクサンヨースプリング社（BSS社）の株式を100%取得
- ✓ 自動車部品および複写機やデジタルカメラ等の精密部品の金属プレスおよび樹脂成型品等を製造
- ✓ 同社の加工技術を活用し、タイで自動車部品や精密部品の金属プレス加工事業に参入
- ✓ タイを起点とした金属加工品の販売拡大を目指す



バンコクサンヨースプリング社
工場内

Iwatani